

グローバル COE 招聘外国人報告書
(受け入れ教官が記入して提出してください)

拠点リーダー 川合光 殿

(受け入れ教官)

| | | | |
|----------------|---|----|---------------|
| 受け入れ教官の 氏名 | 吉川 研一 | 職 | 所属教室 研究室 |
| | | 教授 | 物理学第一教室 吉川研究室 |
| Tel,Fax,e-mail | 075-753-3812 / 075-753-3779 / yoshikaw@scphys.kyoto-u.ac.jp | | |

(招聘者)

| | | | |
|----------------|--|----|-----------------------------------|
| 披招聘者の 氏名 | Chad Leidy | 職 | 国、所属機関 |
| | | 教授 | Colombia, University of Los Andes |
| Tel.Fax.e-mail | +57-1-332-4500, +57-1-332-4516, cleidy@uniandes.edu.co | | |
| 滞在期間 | 自 2009年1月19日 ~ 至 2009年1月24日 | | |
| 談話会 | 題名: Enzyme Mediated Membrane Restructuring: An Interplay Between PLA2 Activity And Membrane Organization | | |
| | 日時: 2008年1月21日(水) 16:00 - 18:00 | | |
| | 聴衆数: 25 | | |

実際に行った研究活動、成果など簡潔に記述してください。

Chad Leivy 准教授による生体細胞膜の構造と熱力学的性質に関するセミナー及び、当該分野の最新の研究成果について情報交換を行なうとともに、京大物理 GCOE の研究グループとの GCOE のとの研究交流、共同研究の可能性を模索した。当該分野では吉川研一教授、山本潤教授、太田隆夫教授の研究室をはじめとするグループとの研究交流を行った。

具体的な研究テーマとして、Leidy 准教授の専門である「膜タンパク制御に着眼した生体膜のナノスケール構造とその熱力学的特性の解析」と、吉川教授の専門領域の1つである「Giant unilamellar liposome を用いた人工細胞モデル系の構築とその物理的特性の抽出」を融合したテーマとして、「人工細胞モデル系での膜タンパク発現と、それを用いた膜タンパクと関連した膜機能等の解析」について、将来の大学院生の交換も含め、具体的な討論会を行った。

さらに、Leidy 助教授の研究室には固層上に固着したタンパク質の Force Microscopy の専門家もおり、今後、Force Microscopy を用いた膜タンパクの解析への応用展開・共同研究を行っていくことを確認した。また、Leidy 准教授は酵母のガラクトース摂取・代謝回路にも興味をもっており、吉川教授の人工細胞モデル系を応用して、これらの遺伝子回路の解明も長期的視野のもとで、研究交流を深めることになった。